



Voice Report



「地域あつての会社」 全員で地域に貢献します！



グループ会社代表 青池 仁 氏

- 社名 **北陸保全工業株式会社・株式会社アシスト**
- 北陸保全グループ代表 青池 仁 氏
- 所在地 北陸保全工業株式会社：新潟県新潟市東区江南3丁目1番地2
株式会社アシスト：山形県村山市大字富並字百森4889番地10
- 主な事業内容 道路標示区画線工事業・産業廃棄物処分業
- 従業員数 グループ合計：81名（男性：64名・女性：17名）
- **健康経営優良法人 2021 認定**

年々高齢化する現状。
健康経営に取り組む必要を感じました。

従業員が年々高齢化していることを実感しており、生産性向上に懸念を抱いていました。体調不良を訴える社員も少しずつ増えてきて、何とかしなければ・・・と考えていたところ、当社を訪問しているアクサ生命の担当の方から、「健康経営」の話を聞き、興味を持ったことがキッカケです。

まずは「取り組みそうな活動」を知ることが大切。

早速取り組みたいと思いましたが、何から始めたらいいのかわかりませんでしたので、従業員の健康習慣を知ることから始めました。従業員全員の健康習慣アンケートを行ったところ、地域によって大きな違いがあることに気が付きました。当社は事業場が新潟県と山形県との2カ所あるのですが、県民性もあるのか、県によって食べ物・飲み物に大きく差が出ました。これは驚きでした。健康に気を付けることを促すために、地域ごとに気になる項目に合わせた情報提供を始めました。運転することが多い仕事でもあり、なかなか体を動かすことが難しかったので、以前から全員で朝礼時にラジオ体操を行っていましたので、食事・運動の両面から意識を向けることに繋がったように感じます。

社長自ら、全員に想いを伝えたことで、
社員の参画意識が高まりました。

取り組む社員も徐々に増えてきた中、全体会議の中で時間を作り、健康への意識付けを行うように勉強会（セミナー）を開催しました。今までは従業員の中にも意識の差が大きかったのですが、全員が「健康は大事」という考えが芽生えたように思えることが起こりました。従業員の中から、「担当者（健康推進員）を決めよう！」「どんなことをやったら良いだろう？」と積極的な意見が出てくるようになりました。社員の参画意識の向上は大きな収穫となりました。

問合せ先・担当者

大切な社員とアイデアを出し合い、
従業員と共に会社も成長していきたい。

健康情報を毎月提供することにより、酒量が多く気になっていた社員の意識が変わり、朝礼で自ら調べた健康情報を話してくれるようになりました。取り組む前に比べ、風邪やインフルエンザが蔓延していた時期に休む社員が大幅に減りました。新型コロナウイルス対策でマスクや手洗いを徹底していることでもあると思いますが、健康への意識が高くなっている結果だと思えます。朝の運動も、最初は嫌々だった社員も、習慣化してきているので、とてもいい傾向だと実感しています。今後も定期的に健康習慣アンケートを実施する予定ですので、従業員の意識や行動がどのように変化しているのか楽しみます。

今後の展望

持続可能な限り、会社を永続的な会社にしていきたいと考えています。その為には、従業員のみならず健康で長く元気に働いてくれることが大前提となります。職場環境の改善・整備に向けて、新社屋へ移転することに致しました。これからも健康経営を通じて活気ある会社となり、「従業員満足度向上」、「地域貢献」を合言葉に「出来ることの積み重ね」を継続していきます。

Jリーグのアルビレックス新潟カラーの
産業廃棄物収集運搬車